



身元引受人様

第2号



そよ風荘 副施設長 田中城作

おもいつき通信担当者

皆様、こんにちは、そよ風荘の田中です。私のおもいつきで、そよ風荘の出来事やスタッフの事などこの紙面をおかりして発信しています。硬い文章ではなく、タイトルの通り『おもいつき』での掲載になりますのでご了承ください。今回、第2号の発刊となりました。

今回は、そよ風荘からの景色を見ていただこうかと思っています。
春は桜・・・吉野山の桜も綺麗ですが、そよ風荘の桜も満開になりました



教えて…ここが知りたい！！



今回、スタッフのアイテムは？と質問がありましたのでお答えします。日々の業務のなかで、さまざまな場面に遭遇します。利用者様の身体介助を行う際には、衛生面に気をつけたり、自身の体への負担にも留意したりする必要があります。そのため、業務中に必要な持ち物を身につけておくことが大切です。業務中に持っておきたい持ち物について、一部ですが、紹介します。

筆記用具：記録など必要書類へ記入したり、業務の内容、利用者さんの状態などのメモを取ったりする機会が多いためボールペンやメモ帳などの筆記用具が必要不可欠です。



衛生品：感染対策として、マスク着用は感染症予防のための必須アイテムであり、使い捨て手袋は汚物の処理などに欠かせません。食対応時や排泄対応時にはエプロンを付けて対応しています（白色は食事用/青色は排泄用）

アルコール消毒薬：感染症対策として、介助後にすぐ手指消毒できるよう、アルコール消毒薬を携帯しています。



インカム：そよ風荘では、フロアスタッフは出勤するとインカムを装着しています。



1, インカムってなに???



1, インカムとは？ハンズフリーで複数人と同時に通信できる無線通信システムのことです。インカムの最も大きなメリットは、複数人に対して同時に通信が可能な点です。インカムを使うと、看護・介護の業務中並行して音声通信が可能となるため、業務を止める必要がありません。インカムは電話回線を使わず、インカム同士で直接音声のやり取りを行います。特に災害時などは、電話回線の混雑を気にすることなくスムーズなやりとりが可能です。また、利用者様の緊急時にも対応できます。

2, インカム導入で何が変わるの？



2, 連携ロスの解消：連携ロスは、だいたい次の3つに分解できます。

①呼び出しに時間がかかる（誰がどこにいるか分からない）②1対1連絡が前提（一斉共有ができず、伝言が増える）③情報が口頭で散らばる（申し送り漏れ・判断遅れにつながる）インカムは、この「探す／つなぐ／伝える」を短縮し、現場の動きを滑らかにしています。



3, インカム導入の効果を教えて？



3, インカム導入の代表的な効果は、時間短縮、安全性、標準化です。

①**時間短縮**：呼び出し・確認・段取り替えが速くなる②**安全性向上**：急変・転倒・トラブル時に“同報”で人を集めやすい③**標準化**：連絡ルール（短く結論、復唱）を整えると伝達品質が上がる
重要なのは、「機器を入れること」ではなく、現場の目的（ありたい姿）に合わせて運用を設計することです。

4, いつ、インカムを使っているの？

- ①スタッフ間の連絡の時（情報共有）
- ②コール対応など他のスタッフに依頼する時（応援依頼）
- ③緊急時などスタッフに応援を依頼をする時（緊急時の応援依頼）
- ④その他の対応時にも活用しています



【インカム使用例】



〇〇様をベッドから起きて頂きたいのですが一人では、できませんので、手すきのスタッフは415号へ来ていただきますか？

① **スタッフA→一斉にスタッフに伝達できる**

スタッフ〇〇が415号へ向かいます



② **スタッフB→返答することで他のスタッフは業務を継続できる**



現在投薬業務中で離れられないので、〇〇様が排泄希望されています誘導できるスタッフをお願いします

業務終わりましたので、スタッフ〇〇がトイレに向います



② **スタッフB→返答することで利用者様への対応が早くできる**



おおきに

